

宝剣岳遭難(2018年3月)

残雪期に単独者(男性)の道迷い遭難。ロープウェイ乗り場へ降りるはずが、反対側の斜面に下降してしまい、ヘリで救助された。



解説

残雪期に宝剣岳山頂からロープウェイ乗り場へ下るところ、反対側の西斜面に下降し、身動きがとれなくなり救助要請。天候にも恵まれ、ヘリで救助され事なきを得た。

この事例は、考えられない事例と言わざるを得ない。天候にも恵まれ、山頂からロープウェイも確認できたと思われる。なので、山頂から宝剣山荘に下山した場合、進行方向、向かって右(東側)に下る一択だと思うのだが、何故か西側斜面に下っている。

「道迷い」にも色々なパターンがあるが、『自分の進む道について全く考えていない』という事例である。考えれば考えるほど、『なぜ?こんな迷い方ができるのだろうか?』とってしまう。道迷い心理の不思議である。

残雪期に単独となれば、「慎重な行動」が必要である。天気が良く、ヘリが飛んだから助かっただけあって、視界が悪く、強風が吹いていれば亡くなっているのも不思議ではない。道迷いしないためには、絶えず地図の先読みをして行動しないとイケない。心がけたい。